



はじめに

毎年、予算の策定は京都国際フランス学園とAPEKにとって決定的なステップです。学校の財政のバランスを保つため、各支出は慎重に検討され、家族への影響を最小限に抑えています。しかし、財政のバランスは重要な要素に依存しています。それは、入学者数です。ほんの数人の生徒の差が、このバランスを不安定にする可能性があります。新たに入学する生徒は家族の負担を軽減し、反対に、学校を去る生徒はその負担を増加させます。だからこそ、私たち全員が生徒数の維持に責任を持っています。それでは、3月28日(金)までにお子様の再登録手続きを完了するのをお忘れなく。皆様の国際的なネットワークをもって京都国際フランス学園の存在を周知いただけますと幸いです。これは皆様にとっても有益であるといえます。

進行中のプロジェクト



日本の法的地位 学校法人



昨年2月、皆様の約80%の賛成票を得て、学校法人(厳密には、準学校法人と各種学校)設立に向けた申請書の提出が承認されました。これは、京都国際フランス学園に日本での法人格を与え、最終的には生徒やその家族に多くの利点を提供するための重要な前進です。また法人格の取得は、京都市から校舎の長期的な借用を実現するために必要最低限条件です。この手続きは、申請書の適格性審査を開始するものであり、私たちは6月までにそれを完了し、正式な申請を行う予定です(京都府による審議は夏に行われ、2025年秋に結果が通知されます)。新しい寄附行為(定款)についての詳しい理解、保護者によるガバナンスに関する検討に参加をご希望の方は、4月23日(水曜日)12時30分に京都国際フランス学園で行われる情報交換・作業会議にご参加ください。



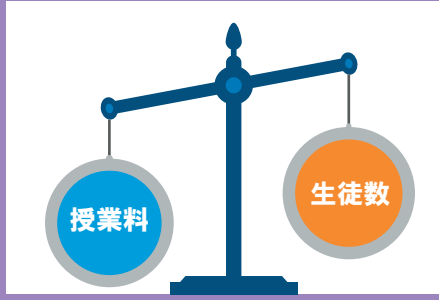
大阪支部



また、皆様の約80%が、APEK会員の家庭に追加負担をかけないことを保証する財政的自立を前提に、大阪に分校を開設する計画に賛同していただきました。フランスのさまざまな機関からの支援や、投資を準備している大企業の支援を受けて、財政面は確実に保障されていました。しかし、今回選定したサイトの入札では、書類審査を通過する事ができませんでした。価格審査において別事業者により落札されました。しかし、これは単なる一時的な遅れに過ぎません。私たちはこのプロジェクトの必要性を確信しており、新しいサイトを見つけるために更なる協議を進めております。今後の進展については、引き続きお知らせいたします。



2025年度の 入学募集



私たちは、京都にフランスの学校「LFIK」を持っているという幸運に恵まれています。京都国際フランス学園は、ダイナミックで認定された国際的に開かれた学校です。私たちは皆、できる限り長い間、ここで子どもたちが成長するのを見守りたいと願っています。しかし、前回のニュースレターで説明したように、京都国際フランス学園の存続は、最低でも266人の生徒数を要し、275人で財政的な均衡が達成され、275人から290人で最適な運営が可能となります。したがって、これらの数字を維持することが非常に重要です。少しの生徒の増減が大きな影響を与える可能性があります。APEK会員の皆様は、京都国際フランス学園の大使でもあります。学校の宣伝を、皆さんの周囲や海外にも広めていただけますよう、お願いいたします。これは、この学校が私たちのコミュニティによって成立し、継続されていくためであります。



学校を振り返って：ファエディさんの証言、 京都国際フランス学園に通う小学生と中学生の3人の子



私の名前はベネデッタ・ファエディ、イタリアとアメリカの二重国籍を持っています。現在、家族とともに京都に滞在しています。夫のヨハンはフランス人で、私たちにはレオナルド、フランチェスコ、ロレンツォという3人の息子がいます。彼らは京都国際フランス学園(LFIK)に通っています。普段はサンフランシスコに住んでおり、そこでは彼らはフランス・アメリカの学校に通っています。私たちは、フルブライト奨学金を通じて日本にきました。この奨学金で、私は日本における男女平等に関する研究を行っています。京都を選んだ理由は、東京よりも静かで、豊かな文化遺産があるからです。私たちの誰もが日本に来るのは初めてだったので、少し賭けのようなものでもありました！LFIKへの適応は素晴らしいものでした。子どもたちはとても歓迎され、学業面でも社会面でもすぐに馴染みました。レオナルドは香港で開催されたプロザップバレーボール大会に参加する機会に恵まれ、貴重な経験をしました。双子たちは、グリーンクラスに行くのを楽しみにしています。フェンシング、チェス、サッカー、テニス、工作、バレーボールなど、たくさんの課外活動を通じて、新しい環境でも自分たちの居場所を見つけました。親としても、非常に充実した経験をしています。LFIKのコミュニティは温かく、私たちは強い絆を築き、たくさんの活動を共にしました。ハイキング、寺院訪問、金継ぎや陶芸のクラスなど、京都は文化、伝統、そして現代が融合した魅力的な都市です。この冒険にとっても満足しており、もしできるなら、滞在を延長したいと思っています。LFIKは素晴らしい環境で、温かい歓迎と親切が溢れる卓越した学校です。

予定表！

3月28日(金)	EDUKAでのお子様の再登録手続きの締め切り。
3月30日(日)	APEK会員によるピクニック、場所と時間は後日お知らせします。
4月6日(日)	地域の花見祭り、LFIKで誰でも参加可能、時間は未定。
4月23日(水)	Gakkou-Houjinの規約およびガバナンスに関する意見交換とワークショップ、京都国際フランス学園で12:30開始。
5月27日(火)	ニュースレター第3号の送信。
5月29日(木)	APEK会員のアフターワーク、場所と時間は後日お知らせします。

コミュニティへの呼びかけ、 皆さんの協力が必要です！

4月5日(土) クレープ作りワークショップ：ボランティア募集
地域の花見祭り前日に、当日販売するクレープを作るボランティアを募集しています。興味がある方は、acattelan@lfikyoto.org までご連絡ください。

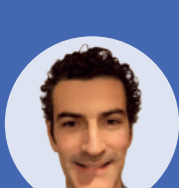
良い情報の共有：リソースを共有しよう
私たちは、学校のコミュニティの日常生活を便利にするため、良いリソースのディレクトリを作りたいと考えています。おすすめ(医師、歯科医、カープールなど)があれば、この[リンク](#)から共有してください。ご提案いただいた内容をまとめ、全校に配布します。

京都国際フランス学園周辺の駐車について：重要なリマインダー
学校周辺の道路に車を停めて子どもを送迎することは、自治会との協定により法的に禁止されています。このルールを守ることは、近隣との良好な関係を維持し、校舎の利用を継続するために非常に重要です。ご協力をお願いします。

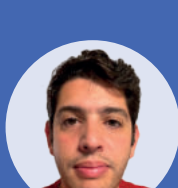
APEKと京都国際フランス学園への皆様のご尽力と継続的なサポートに感謝します。これからの道のりはまだ長く、現在進行中のプロジェクトを実現するためには多くの段階や協議が必要です。しかし、私たちは決意と熱意を持って、京都国際フランス学園の物語の次の章を描き進めています。

運営委員会

A.P.E.K の運営委員会は、年間を通じて皆様のご意見をお伺いしています。



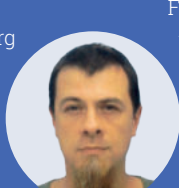
会長
Xavier CARCELLE
apek.president@lfikyoto.org



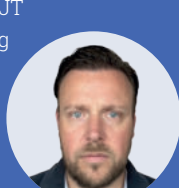
会計
Federico ZYLBERGLAJT
tresorier@lfikyoto.org



書記
Kae DEBAYLES-OKI
secretaire@lfikyoto.org



Grégory PURET
gpuret@lfikyoto.org



Romain RALLU
rrallu@lfikyoto.org



Glen BEDJANIAN
gbedjanian@lfikyoto.org



Guillaume LEQUIME
[glequime@lfikyoto.org](mailto:gquime@lfikyoto.org)



Agnès CATTELAN
acattelan@lfikyoto.org



Julien BOGAERS
jbogaers@lfikyoto.org